



ひがし野

教育目標
 真理(まこと)を求める生徒
 情操(こころ)を深める生徒
 身体(からだ)を鍛える生徒
 高め合い 磨き合い 感動し合い
 「愛」いっぱいの真岡東中

令和2年度



それぞれの道への旅立ち ～令和2年度卒業式～

3月10日(水)に、令和2年度の卒業式を挙行いたしました。春を思わせる暖かな日差しの中、多くの保護者のご参列をいただき、厳粛な中にも温かい雰囲気の中で、無事に116名の生徒が卒業証書を手に入れました。

校長式辞では、真岡東中に新たな伝統を築いてくれたとともに、純粹かつ温かい気持ちで学校生活を全うしてくれた3年生に感謝の気持ちを伝えました。そして、これまで限らない愛情を注いで育てて下さった保護者の方々に心からの敬意をお伝えさせていただきました。

また、新型コロナウイルス感染予防のため、例年通りの全校合唱は行えませんでした。1・2年生が歌っている様子をビデオに編集して映し出し、体育館で小声で歌う3年生と心を合わせた式歌も披露されました。

卒業した3年生の優しさを映し出すかのような、温かさに包まれた令和2年度の卒業式。

116名の卒業生の限りない未来が必ずや輝くものとなり、それぞれの夢へと羽ばたいてくれることを、職員一同、願っております。



令和2年度を終えるにあたり

3月24日(水)が令和2年度の修了式となります。今年度は、始業式・入学式(4/8)のあとの臨時休業。プリントや動画での家庭学習を余儀なくされました。分散登校を経て、ようやく友達と学べるようになったのが6月でした。しかし、部活動の大会やコンクールも中止となり、学校行事も時間等を削減して行わざるを得ませんでした。

そのような中でも、真岡東中の生徒たちは、日々の学習に、学校行事に、部活動に全力で取り組んでくれました。ソーシャルディスタンスを保ちながらも楽しそうに友達と話す姿、生徒会や学級の係活動に責任をもって取り組む姿、真剣に授業に取り組む姿等々は、真岡東中学校生徒の高い志と純粋な心を表すものでした。

「教育は人なり」と言いますが、学校での教育を施す私たち教職員と、家庭での教育を担う保護者の方々と、そして何より学びの主体者である生徒が三位一体となることが求められます。その学びの主体者である生徒たちが、上記のような素晴らしい生徒である真岡東中は、自ずと高い次元での教育が行えるということになります。

令和2年度を終えるにあたり、改めて「心意気」溢れる生徒たちに感謝の気持ちを伝えたいと思います。そして、本校教育へのご理解とご協力をいただいた保護者の方々に、心から感謝いたします。



種目に工夫を凝らした運動会



合唱王国と言われる東中合唱コンクール



学級が団結した駅伝フェスティバル

物語を創る

サッカーの指導をしていた時に、よく生徒たちに話していたことです。

君たちのサッカーの試合は70分。それは、70分で完結する物語である。その物語の結末を決めるのは、君たち自身である。最初に打つシュートは、試合の流れを引き寄せる。その1本の勇気あるシュートが、望む通りのストーリーを創るかも知れない。反対に、ほんの少しでも気を抜いたプレーをすると、それが、最悪のストーリーへと導くかも知れない。要するに、物語の結末を決めるのは、その瞬間瞬間である。最高の結末を迎えたいと思ったら、今、ストーリーを変える努力をすることだ。

令和3年度は、これまで通りの大会実施が計画されています。部活動の大会で、コンクール等で望む結果を得るためには、今この一瞬が大切となります。

夏の最後の大会・コンクールで、共に切磋琢磨してきた友と喜びの涙を流す生徒たちの姿を目にすることを期待します。残り約4か月です。悔いの残らない「青春の汗」を流して、部活動にも全力を尽くすよう、保護者の皆様からの激励もお願いいたします。

(学校は、部活動顧問会議を開き、上記の内容について共通理解を図り、情熱ある指導へと向かいます。)